

論文系原稿投稿チェックリスト—フリーフォーマット原稿の場合—

代表執筆者氏名:

投稿前に下記の項目について確認し、著者チェック欄に確認済として○マークを記入してください。

* 記入不要

分類	著者 チェック欄	チェック項目	*査読者用 チェック欄
A 総合	1	論文系の投稿規定、執筆要領を参照している。	
	2	筆頭著者は本会会員であり、共著者全員が原稿に目を通している。	
	3	図表の転載には、原著者、著作権者の許可を得ている。	
	4	原稿は、投稿規定 4.4(表 1)に記載されたページ数以内である。	
	5	原稿の内容は著者の原著で、一般に公表されている刊行物に未発表であるとともに投稿中ではない(投稿規定 3.2)。	
	6	第1ページの表題部(表題、著者名等)および原稿書式は執筆要領に沿い原稿見本に準じている。	
	7	執筆要領の表 2 および『論文投稿原稿テンプレートの説明(原稿雛形の使い方)』に沿ったスタイル指定がなされている。	
	8	投稿時に必要な提出物について投稿規程表 2 のとおり準備した(なお、連報の場合は、投稿規定の表 2 注 8 に従った。)	
	9	モノクロ原稿で提出している。Web をカラーで掲載する場合、図はモノクロでも判別可能となっている。(特にカラー印刷を希望する場合は、対象図を申し出ること。〔投稿規程付記 1 を参照〕)	
B 表題	1	副題を含め原稿の内容、特徴を適切に表現している。	
	2	英文表題は副題を含め和文表題と意味・内容が一致している。	
C 英文 要旨	1	語数は適切である(執筆要領 4.4)。論文および総説論文は 200 語以内、速報論文は 150 語以内。	
	2	対象とその範囲、手段や方法、新しい事実・現象、結論などが書かれている。	
	3	文字の大きさは 9 ポイントで、左右端は揃えてある(和文原稿見本)。	
	4	キーワードの先頭には分野を示す指定キーワードが書かれている(執筆要領 5.2(2)、付録 2)。	
D 本文	1	章の見出しは 2 行分とり、天地・左右とも中央に書いている。	
	2	新しい節に移るとき、空白行をおかず、改行して直ちに節見出しを書いている。	
	3	単位は SI 単位を使用している。	
	4	誤字・脱字および記号の誤記や不統一はない。	
	5	一文は 4 行以下程度の長さになっている。	
	6	図・表・式・文献それぞれの番号に矛盾はない。	
	7	図・表を本文中で最初に引用する場合、 Fig.1 のように太字(ボールド)で記している。	
E 図表 説明 文	1	図・表の説明が本文中にある。	
	2	図・文字・記号は鮮明(解像度 300~600dpi)で大きさは適切である。	
	3	図中の文字は印刷時に本文と同一かやや小さめ(7~9 pt)となるように設定されている。	
	4	単位の表記は統一されている(執筆要領 7.2(3))。	
	5	キャプションだけで図表が理解できる(執筆要領 7.1)。	
	6	記号の意味は本文を読まなくても理解できる。	
	7	顕微鏡写真には基準寸法が記入されている(執筆要領 7.6)。	
F 文献	1	記載形式、略記法は正しい(執筆要領 9.5,9.6, 付録 5, 6)。	
	2	本文中で文献を引用する場合、肩添字機能を用いて文献番号を記している。	
	3	通し番号で本文中に引用している。	
	4	未発表および投稿中の文献は引用していない(執筆要領 9.2, 9.3)。	
	5	文献リスト中の巻番号(volume)は太字(ボールド)(例: 20 -203)で記している。	